

1. 命を守る基盤の整備

6. 役場庁舎の再建・整備

- 津波により役場庁舎など多くの公共施設が流失し、震災直後の初動対応をはじめ復旧・復興に向けた行政機能に大きな支障をもたらした。
- この教訓を踏まえ、役場や病院など重要施設については防災拠点としての活用を視野に、高台など安全が確保できる場所へ配置した。
- 公共施設の立地や機能などを再評価し、町民意向や将来人口などを勘案しながら再整備を図った。

町役場庁舎・総合支所の建設

行政体制及び機能の回復・整備を図るため、町は役場庁舎及び総合支所の建設を行った。平成23(2011)年度から平成26(2014)年度にかけて、建設場所や規模（組織体制・人員）などの検討を進め、平成26年10月に南三陸町庁舎建設基本構想をまとめた。

同構想では「①住民に開かれ、利用しやすい庁舎、②

周辺環境と調和し、環境に配慮した庁舎、③住民の安全を守る防災機能の拠点としての庁舎、④行政経営の効率化につながる庁舎、⑤無駄を省いた経済的な庁舎」を基本方針とした。

立地については、津波復興拠点整備事業など関連する複数の復興計画と連動して検討し、役場庁舎を志津川地区中心市街地の高台に、総合支所を歌津地区（伊里前）中心市街地の高台に建設することとした。

平成27(2015)年2月にプロポーザル方式で業者選定し、平成27年度内に基本計画・設計・実施設計を進めて平成28(2016)年2月に建設工事を開始した。平成29(2017)年6月5日に歌津総合支所、9月3日に役場庁舎がそれぞれ完成した。

基本計画・設計費及び実施設計費、備品購入費は庁舎建設基金を財源とし、工事費は庁舎建設基金のほか震災復興特別交付税、合併特例債などを財源とした。

【役場庁舎建設の基本方針】「南三陸町庁舎建設基本構想」より

1. 住民に開かれ、利用しやすい庁舎

- 利用しやすい明るい窓口、オープンフロアー（見通しの良いフロアー）の導入、プライバシーへの配慮等により、親しみが持て、満足度の高い行政サービスを提供します。
- 単なる行政手続きの場だけではなく、新たなまちづくりの一体感を醸成するため、町民や来町者等への情報発信の拠点とするともに、集い、憩い、学び、新たな自治を共に創造していく協働の場とします。
- 高齢者、障害者に対するバリアフリーはもとより、子どもや外国人を含め、来庁者が使いやすわかりやすいユニバーサルデザインとします。

2. 周辺環境と調和し、環境に配慮した庁舎

- 太陽光、自然通風等を活かした省資源・エネルギー対策、太陽光発電や木質バイオマス等の再生エネルギーの導入を検討し、環境に配慮した施設とします。
- 周辺の環境や景観と調和し、うるおいある環境づくりを目指します。

3. 町民の安全を守る防災機能の拠点としての庁舎

- 災害時において町民の安全を守るため、地域防災の拠点施設として非常時にも行政機能を保持できる耐震性、安全性に優れ、防災対応機能が整った施設とします。

4. 行政経営の効率化につながる庁舎

- 町民にとってわかりやすく、利用しやすい施設であることはもとより、職員は意欲的に職務に取り組み、効率的に事務が遂行できる快適な職場環境とします。
- 長期的な展望に立って、町民ニーズの多様化、高度化、地方分権の進展などによる行政需要の変化に対し、組織の変更、職員の異動等に柔軟に対応できる施設とします。

5. 無駄を省いた経済的な庁舎

- 機能性、効率性を追求し、合理的な施設とします。
- 施設の長寿命化、維持管理や改修・更新の効率化、スペースの汎用性等、ライフサイクルコストを考慮した、長期的に経済効率性の高い庁舎とします。

交流と協同のシンボル「マチドマ」

役場庁舎・総合支所ともに、基本構想における方針②に基づき町産の杉や再生木材を用いた施工によって、日本の公共建築としては初となる「FSC® 全体プロジェクト認証」(※)を取得した。

また両庁舎には、伝統的な民家の入口の土間のように内と外の間で人々が交流できる町の土間、「マチドマ」と呼ぶ共通したデザインの空間を設けた。これは復興活動における町民と行政の協働や町外からの支援活動などを行う公共スペースとなることを意図したもので、人々が気軽に訪れる敷居の低い庁舎を表すコンセプトを体现している。

南三陸町役場と歌津総合支所、歌津公民館は、地域の人々が気兼ねなく集まれる場所「マチドマ」のコンセプトや伝統の切り子のモチーフ、南三陸杉の大断面集成材の格子の意匠等が高く評価されて、2018年度のグッドデザイン賞を受賞した。

※「FSC® 全体プロジェクト認証」
持続可能な森林活用・保全などを目的とした「適切な森林管理」を認証するためにFSC（Forest Stewardship Council、森林管理協議会）が設けた国際的の制度。



「FSC® 全体プロジェクト認証」の授与



「FSC® 全体プロジェクト認証」認定証



南三陸町役場庁舎の建設（平成28年11月）



南三陸町役場開庁式



大森創作太鼓旭ヶ浦の演奏



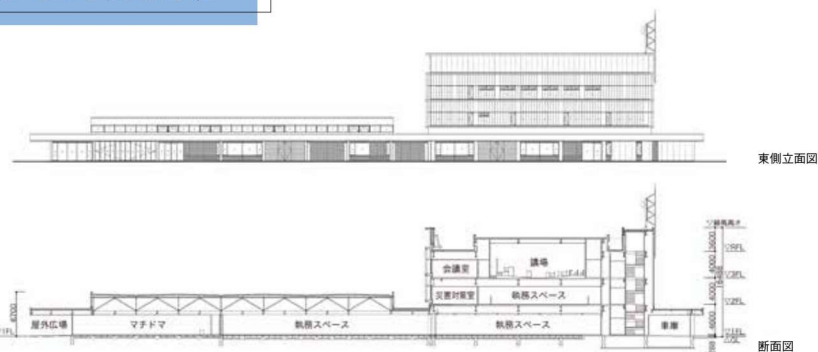
広々とした「マチドマ」



南三陸町役場庁舎

南三陸町役場庁舎

■役場庁舎立面図・断面図



東側立面図

断面図



道路に面した打ち合わせスペース



南三陸町役場庁舎



議場

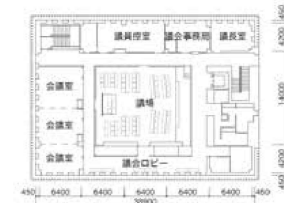


窓口スペース

■役場庁舎平面図



2階平面図



3階平面図



1階平面図

本ページの写真提供：株式会社 久米設計 撮影：田中克昌



歌津総合支所・歌津公民館

歌津総合支所 歌津公民館



平面図



断面図

きりこパネル



南三陸町歌津総合支所・歌津公民館概要

事業年度：平成26～平成29年度

事業名：南三陸町歌津総合支所・

歌津公民館建設事業【庁舎】

所在地：宮城県本吉郡南三陸町歌津字管の浜60番地

敷地面積：2,338.35㎡

建築面積：1,392.07㎡

延床面積：1,298.55㎡

階数：地上1階建て

最高高さ：5.80m

構造：鉄骨造、鉄筋コンクリート造、木造

工期：平成28年2月16日～平成29年5月31日



歌津総合支所のマチドマ

歌津総合支所・歌津公民館



本ページの写真提供：株式会社 久米設計 撮影：田中克昌